

2016年春季闘争

全電線に結集する組合員の皆さん、おはようございます。

第193回中央委員会にて
2016年春闘方針を決定

本日(2月23日)は、**統一要求提出日**です。
全電線



激励に駆けつけた
矢田わか子氏



海老ヶ瀬中央執行委員長挨拶



議長団
写真左: 稲葉中央委員(住友)
写真右: 青木中央委員(フジクラ)



全員でのガンパロー三唱

闘争日程	3月1日(火)	第1回統一交渉日
	3月8日(火)	第2回統一交渉日
	3月15日(火)	山場ゾーン
	~23日(水)	

回答指定日	3月16日(水)	Aブロック単組
	17日(木)	BCブロック中戦単組
	18日(金)	BCブロック単組



JEWU 2016年春季闘争の取り組み

I 「新たな豊かさと生活の安心・安定をめざす」ための『総合生活改善闘争』との位置づけのもと取り組みます。

■雇用を守る取り組み

- 雇用の維持・確保を、最優先すべき最大の課題と位置づけ、組合員の雇用安定に向けて、継続的な取り組みを推進する。

■賃金

- 「定期昇給をはじめとする賃金構造維持分の確保」を図ったうえで、賃金引き上げは、35歳標準労働者賃金で3,000円以上を個別賃金方式で要求する。

■年間一時金

- 「生活保障部分(固定部分)」と「成果反映部分(変動部分)」を併せて5ヵ月中心とし、産別ミニマム基準は「平均原資年間4ヵ月」とする。

■退職金引き上げ

- 「勤続42年・60歳」を基本としつつ、これまでの到達闘争の経過も踏まえ、「中卒・勤続35年・60歳」についても各単組の実態に即し取り組む。

■ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取り組み

(1)労働時間短縮

- 当面の目標である年間総実労働時間1,900時間台の定着のため、積極的に取り組む。

(2)次世代育成支援

- 『次世代育成支援に関する全電線の基本的考え方(第1版)』に沿って取り組む。

(3)育児・介護への対応

- 『育児・介護に関する全電線の基本的考え方(第1版)』に沿って取り組む。

■その他

- 60歳以降の雇用確保
- 労働諸条件および働く環境の改善の取り組み

II 生活環境の改善と産業政策の実現に取り組めます。

連合・金属労協、関係諸機関、協力議員への展開など、幅広い取り組みを推進していきます。

全電線は全電線組織推薦候補 矢田わか子氏と政策協定*を締結しています。

私たちの政策を国政の場で意見・反映していただけるよう全力で支援します。(ホームページ: <http://yatawaka.com>)

※政策協定:

1. 全電線の掲げる綱領と目的および事業や運動方針・政策を支持し、賛同する。
2. 電線関連産業の持続的発展に向けた政策について賛同し、国政の立場から実現に向けて取り組む。
3. その他の個別政策についてはその都度、全電線との間で必要な連携・調整を行う。



矢田わか子氏と
海老ヶ瀬中央執行委員長の握手

III 産別自決を基本に全単組が一体となった闘争を推進します。

各単組は、上記内容に基づき、要求を提出します。